

## かりや夢ファンド補助金公開審査会について

### 1 目的

市民からの提案を対面式・生の声で聴き、質問などを含めたコミュニケーションを行うことで、今後の刈谷のまちづくりに向けた知恵の交換や共感をはぐくむとともに、提案事業の審査を行います。

### 2 開催日時・場所

- (1) 日時 令和3年1月16日(土) 13時30分～15時45分
- (2) 場所 審査会場：刈谷市民ボランティア活動センター  
審議会場：刈谷市社会教育センター301研修室

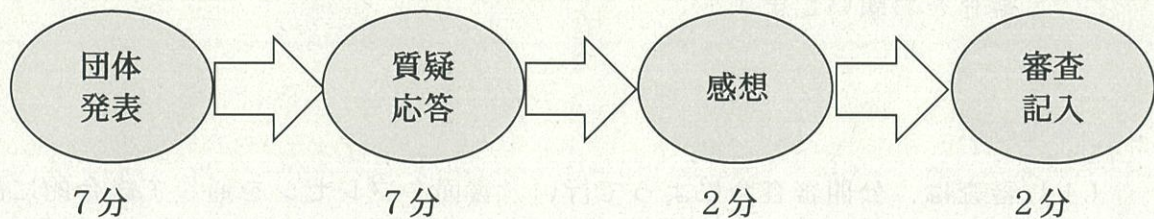
### 3 申請補助金・団体

まちづくり活動支援事業補助金：3団体

- (1) FG 依佐美ランナーズクラブ
- (2) 特定非営利活動法人 Green Trust
- (3) 泉田郷土研究会

### 4 提案者によるプレゼンと質疑応答・感想

(1) 1事業ごとに、以下の流れで審査を行います。



(2) 事業ごとに質問の口火を切る担当(案)は2ページの記載のとおりです。

2つ目の質問からは特に順番はありませんので、積極的なご質問をお願いします。その際、一つの論点だけに集中せず、時間配分や内容のバランスに配慮しながら質疑をお願いします。また、昨年度は時間の都合上行わなかった来場者質問ですが、来場者アンケートにも希望があったことから今回は再び行います。



(3) プレゼンに対する質疑応答終了ごとに感想を話す担当(案)は記載のとおりです。提案を聴いていて、よかったところ、共感したところ、改善してほしいところ、さらにステップアップするためのポイントなど、団体の今後の活動が活性化するような応援メッセージをお願いします。

(4) 口火及び感想役について(事務局案)

申請団体	口火	感想
プレゼン1	杉戸 真	長澤 勇夫
プレゼン2	小川 行皓	高木 一恵
プレゼン3	加藤 京子	鱸 裕介

(5) 今回出た意見を取りまとめて、その内容を踏まえたプレゼンをするよう依頼する予定です。そのため、当日の質疑の際は提案発表を改めて聞いた上で、内容を再整理してご質問ください。また、普段の活動内容等団体自体を問う質問より、事業内容についての質問を優先してください。

(6) 質疑終了後、2分間で採点をお願いします。各提案の良かった部分・応援したい部分・改善部分などのコメントについても、審査シートに積極的にご記入をお願いします。なお、ご記入いただいたコメントは、無記名で取りまとめ、団体宛てに審査結果と併せて送付します。また、審査シートは点数集計のため、事業毎に事務局が回収し、集計が終わり次第返却します。

(7) プレゼンは、この後決定した順で行います。

(8) 刈谷市民ボランティアセンターのロビーを活用したPRも評価の対象として審査をお願いします。

## 5 審査方法

(1) 審査は、公開審査会によって行い、書面やプレゼンを通して総合的に評価します。

(2) 審査員は、夢ファンド部会員の皆さんに務めていただきます。なお、審査委員長は昇委員、審議進行は米田部会長をお願いします。

(3) 事業毎に審査員の合計得点を平均し、それに会場点を加算して、提案事業の採択を決定します。

(4) 採択は、原則として基準点に達している事業の得点上位から予算枠に達するまで、申請額の満額補助で採択していきます。



- (5) 審議により、事業の企画・運営・申請額等に再検討を必要とすると判断したのものについては、「条件付」とします。

## 6 審議

- (1) 総合得点が高いものは、認定を前提とし、確認作業を中心に行います。
- (2) 基準点を満たしていない事業は、その理由を明確にした上で不採択とします。
- (3) 補助金交付の当落線上にある事業は、「総合的な評価」「審査員による得点の高低が大きい項目」等についてその判断理由を確認しながら、採点の内容を再確認します。
- (4) 各事業について、条件を付すべき内容がある場合は、指摘のポイントを整理します。

## 7 結果発表

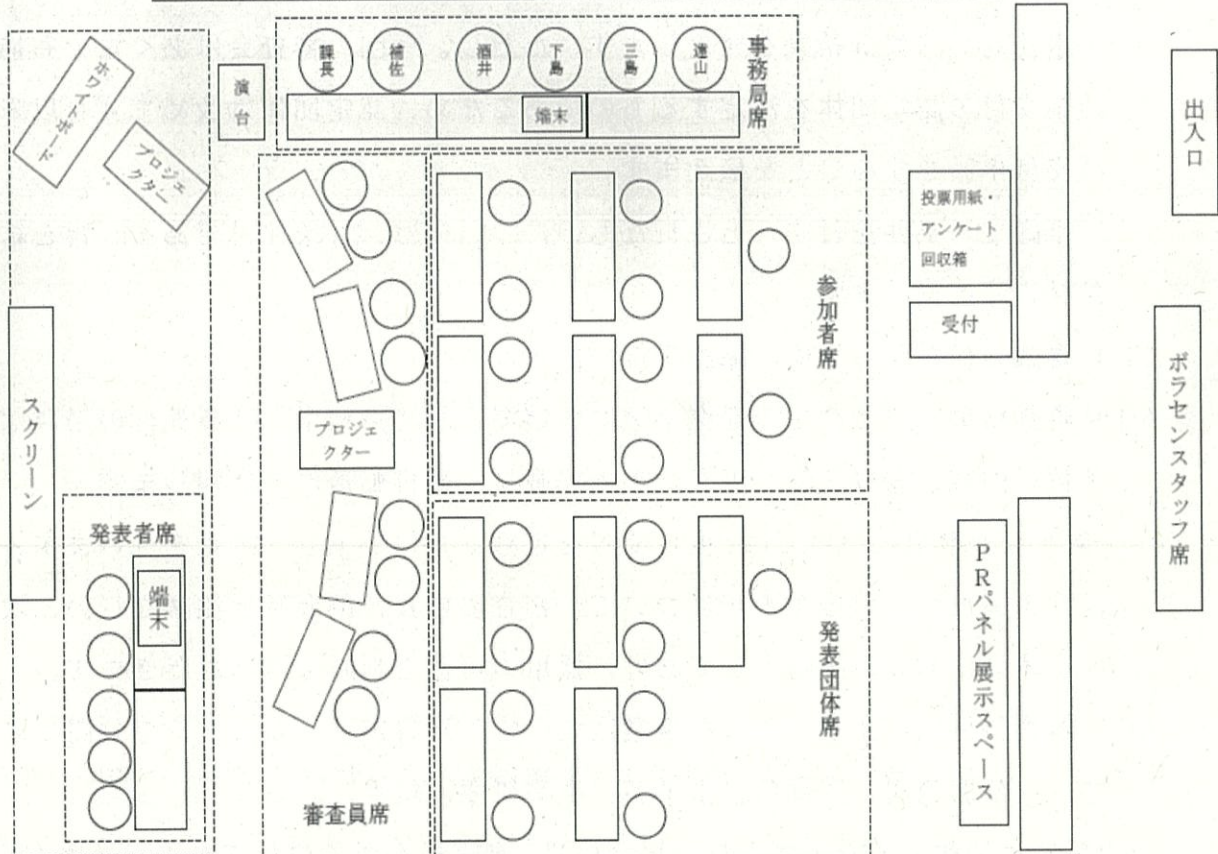
- (1) 事務局から集計結果を発表します。ただし、今回の審査会はあくまでも補助金交付の認定団体を決定するものであるため、認定団体は改めて4月以降に交付申請をすることを伝えます。
- (2) 審議で「条件を付す」とされたものについては、「条件付である」旨を結果発表時に伝えます。
- (3) 審査委員長から全体の講評を行います。
- (4) 審査結果は、すべての提案事業について、①得点結果、②条件付の場合は条件の内容、③コメント等を文書で記載し、後日郵送にて通知します。
- (5) 条件付の事業については、後日期限を定めフォローアップ調査を行います。条件を満たしているか否かについて、審査委員長、部会長と協議を行い、次回全体会において議題としてあげ、採用の可否を判断していただきます。
- (6) 審査結果は、認定になった事業について、刈谷市ホームページで公開します。(公開範囲：団体名、事業名、事業概要、得点)
- (7) 個別に情報公開を請求された場合には、審査員を匿名にして審査集計票(審査項目毎/審査委員毎の得点を記載)を公開します。

8 公開審査会プログラム

内容	実時間
事務局集合・準備	12:30 ~ 13:00
審査員集合	~ 13:00
受付・審査員説明	13:00 ~ 13:30
開会・概要説明	13:30 ~ 13:45
プレゼン1	13:45 ~ 14:03
プレゼン2	14:03 ~ 14:21
プレゼン3	14:21 ~ 14:39
審議	14:39 ~ 15:25
結果発表・講評	15:25 ~ 15:40
閉会	15:40 ~ 15:45

9 会場レイアウト

かりや夢ファンド公開審査会 審査会場（市民ボランティア活動センター）





まちづくり活動支援事業補助金 審査シート

提案団体名 F G 依佐美ランナーズクラブ

審査員氏名

提案事業名 “聖火リレーを体験しませんか”

申請回数

1

提案順

審査の視点	審査のポイント	審査点数	メモ・質疑事項
①主体性・協働性	課題を自分ごとと捉え、他の主体に依存することなく、自分たちでできることを行おうとしている。 さまざまな市民や団体が参加し、つながる機会をつくっている。	5・4・3・2・1	
②公益性	まちの課題や市民のニーズに対応し、多くの市民の利益に貢献することができ。 事業を通して人々の共感を得て、意識を向上させていくことができる。	5・4・3・2・1	
③独創性・先駆性	新しい課題やテーマ、視点からの取り組みである。 事業の進め方や手法に工夫があり、団体の特性が活かされている。	5・4・3・2・1	
④実現性	事業計画やスケジュール、収支計画が具体的・妥当である。 団体としての組織力があり、事業を効果的に行うことができる。	5・4・3・2・1	
⑤発展・継続性	将来的な事業の発展性を検討している。 今後も刈谷で継続した取り組みを行おうとしている。	5・4・3・2・1	
総合評価・コメント		合計点 (25点満点)	

※審査は1～5の5段階評価で採点します。下記を参考に審査点数欄の点数に丸をつけてください。

5：特に優れている／想定以上の効果が期待できる

4：優れている／かなり効果が期待できる

3：平均的・普通である／一定の効果が期待できる

2：もう少し努力が必要である／少しは効果が期待できる

1：努力が必要である／あまり効果が期待できない



令和2年度かりや夢ファンド補助金 申請事業一覧表

まちづくり活動支援事業補助金

No.	団体名	代表者名	事業名	回数	事業目的	事業概要	事業費	補助申請額
1	F G依佐美ランナーズクラブ	赤川 三好	“聖火リレーを体験しませんか”	1	東京オリピックで実際に使用される聖火リレーを持って、誰でも聖火リレー体験ができる。参加者は幼児から高齢者まで、障害の有無に関わらず誰でも参加できる（ただし、障害者の介助は行わない）。また、会場では募金を行い、アジアに暮らす障害児の自立と就学支援を支えている団体に寄付する。	実際に今回の東京オリピックの聖火リレーで使用される聖火トーチを持って、総合運動公園内の指定コースで聖火リレー体験ができる。また、前回の東京オリピックで使用された聖火トーチを持って記念撮影もできる。	240,000	120,000
2	特定非営利活動法人 Green Trust	大里 健二	刈谷市内・市道道路付属物等の点検及び補修方法について、専門業者との連携が実現する。又、管理台帳の作成・更新等も担当する。	2	刈谷市内・市道道路付属物等の点検及び補修方法について、専門業者との連携が実現する。又、管理台帳の作成・更新等も担当する。	例として、道路標識の現状の点検（種類・設置の状況・劣化状態）の把握を会員が行い、結果は台帳を作成して担当に提出する。	500,000	200,000
3	泉田郷土研究会	山田 孝	『泉田の歴史』冊子発行事業	1	泉田の歴史研究について、毎月の地区巡回や毎年の泉田文化展でその成果を発表し、住民に理解してもらおう取り組みをしてきたが、回覧板では時間がかかっていた。そこで、5年間にわたって作成した原稿をまとめ、時代順に構成し及び当初の原稿を加除修正して、より地域の歴史を理解しやすいように冊子にまとめる。	5年間発行してきた活動成果の原稿の加除修正を検討し、冊子の元原稿を作成する。その冊子ができたら、地域の希望者への販売や刈谷市の公共施設（特に図書館、学校、幼児園、保育園、生涯学習センター等）への寄贈を計画している。また、小中学校の社会科・総合的な学習等の授業、子ども会での講話、地区の文化活動など冊子を見て泉田の歴史に関心を持った方から講演依頼があれば、積極的に取り組む。	385,000	192,000
合計							1,125,000	512,000